

『何にもできない』 作：ポチ子

『何にもできない』 作：ポチ子

私、何もできないことがない。

年下でも唯一無二のものを持っていて、

評価されている人を見ると、

自分はまだ遅いんだなって思うの。

その人は短い人生の中で、

沢山の事を吸収して、努力をして、

そして運にも恵まれて。

私には無理なんだ。

そうやって卑屈に考えるけど、

50歳とか60歳、100歳くらいの私が、

今の自分を見たら、

この時初めていれば。

まだなんでもできるじゃん。

って嘆いていると思うの。

きっと、未来の私も、

変わらず何もできないまま。

誰かを羨んで、

勝手に憎んで、

出来ない理由を、全部過去の自分のせいにして。

多分そうやって生きている。

別にどうなりたいとか、

こうしたいとか言うわけじゃないの。

ただ、漠然と嫌だなんて思うだけ。

— 終わり —